

財政状況の公表（平成20年11月公表 平成20年度上半期の財政状況）

平成20年度当初予算は、まちの魅力や活力を作り出していく施策や環境対策、子育て支援策や教育環境の向上など、まちづくり、人づくりを総合的に進める施策の予算化に努めました。

金額、割合は、表示単位未満で四捨五入しています。このため、収入率、執行率などの数値は、表示されている数値から算出した値とは一致しないことがあります。

各会計の予算執行状況

平成20年度上半期の予算の執行状況は、平成20年9月30日現在、次のとおりです。

各会計の予算執行状況

一般会計および各特別会計の執行状況は次のとおりです。

会計	予算現額 (億円)	収入済額 (億円)	収入率(%)	支出済額 (億円)	執行率(%)
一般会計	1,001	422	42.1	389	38.9
用地特別会計	13	10	73.2	10	73.2
国民健康保険事業特別会計	321	122	38.0	126	39.3
老人保健医療特別会計	26	20	76.8	22	82.7
介護保険特別会計	168	81	48.2	65	38.6
後期高齢者医療特別会計	52	19	37.6	15	28.7

後期高齢者医療特別会計は、長寿医療（後期高齢者医療）制度の開始に伴い、今年度、新たに設けた特別会計です。

一般会計予算の執行状況

9月30日現在の執行状況は次のとおりです。

一般会計予算執行状況の歳入内訳			
歳入	予算現額(億円)	収入済額(億円)	収入率(%)
特別区税	307	118	38.4
特別区交付金	352	154	43.7
地方消費税交付金・利子割交付金等	56	31	54.8
負担金、使用料及び手数料	27	14	53.2
国・都支出金	156	67	43.1
諸収入	11	3	28.2
特別区債	13	0	0.0
その他	79	35	43.9
歳入合計	1,001	422	42.1

一般会計予算執行状況の歳出内訳			
歳出	予算現額(億円)	支出済額(億円)	執行率(%)
議会費	8	4	45.9
経営費	104	30	28.5
区民生活費	92	39	41.6
子ども家庭費	169	79	47.0
保健福祉費	322	147	45.7
都市整備費	73	27	37.6
教育費	109	39	36.1
公債費	64	24	38.2
その他	60	0	0.5
歳出合計	1,001	389	38.9

補正予算のあらまし（平成20年度上半期）

当初予算の成立後、施策の変更が必要となったり、社会経済状況が変わったりした場合に、追加や修正をするための予算が補正予算です。

平成20年度上半期には、次のとおり補正を行いました。

6月（平成20年第2回中野区議会定例会）

一般会計

7,463万1千円の追加補正を行いました。その内容は、生活安定応援事業の実施に伴う窓口の設置と後期高齢者入院時負担軽減支援金支給のための経費です。また、中野区土地開発公社に対する債務保証のための補正も行いました。

9月（平成20年第3回中野区議会定例会）

一般会計

25億2,912万5千円の追加補正を行いました。主な内容は商工会館緊急改修工事経費、重度身体障害者グループホーム整備及び支援経費、小中学校体育館耐震補強工事費、財政調整基金及びまちづくり基金などへの積立金などです。

介護保険特別会計

2億1,948万8千円の追加補正を行いました。これは、介護給付費及び地域支援事業費として交付を受けた国庫支出金、都支出金、支払基金交付金の超過額の返還金に充てる経費です。

区債・一時借入金・基金・区の財産の状況

区債の状況

将来にわたり区の財産となる土地の買入れや公共施設の建設などの財源として発行するものです。いわゆる借金のことで、発行にあたっては、将来の財政負担が過大とならないよう注意が必要です。

区債の種類(発行目的)	9月末現在高 (億円)	3月末借入額 (億円)
総務債(土地の取得、庁舎の整備などに)	64	64
民生債(社会福祉施設の建設などに)	88	93
都市整備債(土木債を含む。橋りょう・公園の整備などに)	110	56
教育債(小中学校や社会教育施設の整備などに)	41	44
減税補てん債(住民税減税に伴う減収分の補てんに)	119	124
その他(区民施設・環境施設の建設などに)	36	47
合計	458	428

一時借入金

区民税などの収入時期と経費の支出時期のずれなどから、一時的に支払いに必要な資金が不足することがあります。このとき、予定されている収入ですみやかに返済することを条件に、金融機関などから借り入れる資金を一時借入金といいます。

平成20年度上半期には、一時借入金はありませんでした。

基金

基金には、年度間の財政調整を図るための財政調整基金、将来の特別区債の償還に備えるための減債基金のほか、特定の目的のために積み立てるもの、その利子で事業を行うものなどがあります。

条例により設置されている、いわゆる区の貯金です。

基金の種類、目的と9月末の現在高は次のとおりです。

- ・ 財政調整基金
187億円(年度間の財源の調整)
 - ・ 減債基金
51億円(特別区債の償還財源確保)
 - ・ 中野刑務所跡地防災公園建設基金
10億円(中野刑務所跡地の防災公園建設)
 - ・ 社会福祉施設整備基金
8億円(社会福祉施設の整備・建設)
 - ・ 義務教育施設整備基金
76億円(義務教育施設の整備・建設)
 - ・ 平和基金
1億円(平和事業に要する財源確保)
 - ・ 災害対策基金
3億円(大規模災害時における被災者の救援等)
 - ・ 区営住宅整備基金
6億円(区営住宅の整備)
 - ・ 介護給付費準備基金
12億円(介護保険給付費の次年度以降の財源確保)
 - ・ 道路・公園整備基金
3億円(道路・公園の整備に要する財源確保)
 - ・ まちづくり基金
19億円(総合的なまちづくりに要する財源確保)
 - ・ 区民公益活動推進基金
26万円(区民公益活動に必要な資金の助成の財源確保)
- 合計 376億円

区の財産

いろいろな事業を実施していくためには、道路、公園などの事業用地や庁舎などが必要です。区ではこうした土地建物のほか物品などの財産を保有しています。これらの財産については、常にその適正な管理に努めています。なお、50万円以上の重要な物品については、特別整備品として管理しています。

9月末現在の保有高は、次のとおりです。

財産の種類	9月末現在	3月末
土地	98万9,639.73平方メートル	110万4,607.20平方メートル
建物	50万1,481.73平方メートル	50万1,481.73平方メートル
備品(50万円以上)	2,313点	2,345点

区民のみなさんの区税負担

みなさんに納めていただく特別区民税の区民1人あたり、1世帯あたりの負担額は次のとおりとなります。

定率減税の廃止や国から地方への税源移譲により、区民税の負担が増えました。

・ 1人あたり 95,354円(昨年9月末は93,270円)

・ 1世帯あたり 161,926円(昨年9月末は159,672円)

平成20年10月1日現在 人口 312,230人、世帯 183,864世帯で算出(外国人登録者数・世帯含む)